

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員 山口 卓也

開催月日	令和4年7月11日		
開催時間	13時-15時		
開催場所	滋賀県大津市唐崎二丁目13-1		
主催者	全国市町村国際文化研修所		
研修会等の名称	令和4年度市町村議会議員研修[3日間コース] 社会保障・社会福祉		
講師等の氏名等	駒澤大学法学部 教授 原田啓一郎 氏		
内容・結果等	講義①持続可能な福祉社会の現状と課題		
	概要		
	1.少子高齢化・人口減少社会の意味		
	- 私たちの社会を取り巻く環境の変化を読み解く		
	2.持続可能な社会保障制度と社会保障制度改革		
	- 社会保障制度改革の現在地		
	3.持続可能な福祉社会のこれからを考える		※詳細は別紙のとおり
	まとめ・感想		
	少子高齢化・人口減少社会と呼ばれて久しいが、今後も状況は加速し、2025年以降は「高齢者の急増」から「現役世代の急減」という局面に変化し、より一層持続可能性が厳しくなる。社会保障制度を持続可能とするためには、「給付と負担の見直し」「成長と分配の好循環」が求められるとのことだが、今後も長らく課題として立ち塞がりそうだ。		
	上記活動に要した経費	経費の内容	支払先
会場費			
講師謝礼			
出席者負担金			
会費			10,850
旅費			39,220
宿泊費			
振込手数料			385
合計			50,455

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員 山口 卓也

開催月日	令和4年7月11日		
開催時間	15時20分-17時20分		
開催場所	滋賀県大津市唐崎二丁目13-1		
主催者	全国市町村国際文化研修所		
研修会等の名称	令和4年度市町村議会議員研修[3日間コース] 社会保障・社会福祉		
講師等の氏名等	NPO法人 子育てひろば全国連絡協議会 理事長 奥山千鶴子 氏		
内容・結果等	講義②子育て支援と少子化対策		
	概要		
	1.少子化、子育ての現状		
	2.日本の子ども・子育て支援のこれから		
	3.少子化とあきらめる前に、すべきこと		
	※詳細は別紙のとおり		
	まとめ・感想		
	高齢者の社会保障は、介護保険等で社会化が実現しているが、子育ての社会化が求められている。講義では講師が関わる事業の概要など説明を受けたが、その他		
	子育て支援策の先進地の施策などを積極的に取り入れ、本市の子育て支援策の充		
	実を図っていく必要性を感じた。		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		
	旅費		
	宿泊費		
	合計		

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員 山口 卓也

開催月日	令和4年7月12日		
開催時間	9時25分-11時40分		
開催場所	滋賀県大津市唐崎二丁目13-1		
主催者	全国市町村国際文化研修所		
研修会等の名称	令和4年度市町村議会議員研修[3日間コース] 社会保障・社会福祉		
講師等の氏名等	株式会社ニッセイ基礎研究所 主任研究員 三原岳 氏		
内容・結果等	講義③介護保険と地域包括ケアにおける市町村の役割		
	概要		
	1.地域包括ケアを再考          2.介護保険制度の現状		
	3.予防を中心とする最近の制度改正      4.地域の実情に応じた体制づくり		
	5.地方議会への期待		※詳細は別紙のとおり
	まとめ・感想		
	地域包括ケアシステムは、医療、介護、介護予防、住まい、生活支援の連携と理解して		
	いたが、大事なことは対象者個人からの生活目線で必要な支援を医療、介護等で連携		
	していくということを学んだ。介護保険制度が浸透したことで充実した高齢者支援が可能		
	となったが、この講義でも制度の持続可能性が課題としてあげられ、支援充実と財源・		
人材確保は表裏一体であると実感。給付減や負担増の選択肢に対しては国民の反発が			
不可避であり、有効な解決策は見出せない状況であるとのことであった。			
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		
	旅費		
	宿泊費		
合計			

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員 山口 卓也

開催月日	令和4年7月12日		
開催時間	12時40分～14時40分		
開催場所	滋賀県大津市唐崎二丁目13-1		
主催者	全国市町村国際文化研修所		
研修会等の名称	令和4年度市町村議会議員研修[3日間コース] 社会保障・社会福祉		
講師等の氏名等	九州大学名誉教授 尾形裕也 氏		
内容・結果等	講義④地域医療の現状と課題		
	概要		
	1.医療・介護提供体制の長期ビジョン		
	2.医療計画の見直し		
	3.地域医療構想の策定及び推進		
	4.地域医療構想に関する講師の私見		
	5.新たな介護保険施設の創設		
	6.医療機関経営戦略論		※詳細は別紙のとおり
	まとめ・感想		
	公立病院の課題や地域医療体制について学んだ。新型コロナウイルス感染症に対する課題としてベッドはあるが医師や看護師がいないといったことであり、この配置の適正化を図ることが必要とのことであった。過剰な病床が存在するが公立病院は対応が遅れてしまっていると。		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		
	旅費		
	宿泊費		
	合計		

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

山口 卓也

開催月日	令和4年7月12日		
開催時間	15時-17時		
開催場所	滋賀県大津市唐崎二丁目13-1		
主催者	全国市町村国際文化研修所		
研修会等の名称	令和4年度市町村議会議員研修[3日間コース] 社会保障・社会福祉		
講師等の氏名等	大阪公立大学大学院 生活科学研究科 准教授 垣田裕介 氏		
内容・結果等	講義⑤生活困窮者の実態と支援策		
	概要		
	福岡県中間市において、新型コロナ感染拡大の影響を受けた223世帯の実態を調査されたものをもとに講義をされた。 ※詳細は別紙のとおり		
	まとめ・感想		
	実際に対象者一人一人の事例を現場で確認されているので、具体的な実態を分析されたもので、より現実的な課題と認識することができた。福祉あるあるとして、支援金を支給するだけではかえって危機感や就労意欲を失うなど生活の再建に結びつくとは限らないとのことで、大事なのは、個別的に支援策をコーディネートして継続的に提供する「伴走型支援」が必要であると説かれた。支援メニューは揃っているが、単独では辿り着けないことも多いとのことで、支援策の提供側の姿勢が大事だと学ぶことができた。また、「制度は作るだけでなく使われてなんぼだ」と説かれ、市政全般にも及ぶ重要なポイントだと感じた。		
	経 費 の 内 容		
	支 払 の 先		
	金 額 ( 円 )		
	上記活動に要した経費	会場費	
講師謝礼			
出席者負担金			
会費			
旅費			
宿泊費			
合 計			

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員 山口 卓也

開催月日	令和4年7月13日		
開催時間	9時-10時30分		
開催場所	滋賀県大津市唐崎二丁目13-1		
主催者	全国市町村国際文化研修所		
研修会等の名称	令和4年度市町村議会議員研修[3日間コース] 社会保障・社会福祉		
講師等の氏名等	社会福祉法人全国社会福祉協議会 副会長 古都賢一 氏		
内容・結果等	講義⑥地域共生社会の実現に向けて		
	概要		
	1.新型コロナ禍で見えてきた社会課題		
	2.「2040年問題」と地域生活課題の多様化・複雑化		
	3.地域生活課題の解決を目指す社会目標		
	4.これからの福祉関係者の進む方向		
	5.地方自治体の役割を考える		
	6.地域生活課題の解決に必須の「協働」 ※詳細は別紙のとおり		
	まとめ・感想		
	福祉課題全般について講義を受け、他自治体の議員さんとも意見交換することができた。 地域社会は、日常生活を営む家庭の集合体であるが、現代社会は複雑多様化していて 疎遠になりやすいと感じる。理想像ではなく現実的な地域共生社会を目指す必要がある。		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		
	旅費		
	宿泊費		
	合計		